

## コロンビア政治情勢（8月分）

### 1 概要

#### 【内政】

- 1日 閣僚4名の交代に関する発表
- 10日 ベルナルド・エリアス（通称「ニョニョ」）上院議員の逮捕
- 15日 FARCの武器回収の搬出完了と「訓練・再統合領域空間」への転換
- 16日, 23～24日 FARCによる財産リストの政府への提出
- 19日 検察によるFARC離反兵の報告書の発表
- 27～31日 FARCの政党発足に向けた全国集会の開催
- 大統領支持率

#### 【外交】

- 7日 サントス大統領のベネズエラ情勢に関する発言
- 8日 オルギン外相のベネズエラ情勢に関する外相会合出席（於：ペルー）
- 9～10日 オルギン外相のアルゼンチン訪問
- 13～14日 ペンス米副大統領の当国訪問
- 18～22日 オルテガ・ベネズエラ「前」検事総長のコロンビア入国
- 29～31日 ロンドーニョ筆頭外務次官のFEALAC外相会合出席（於：釜山）
- 30日 コロンビア外務省による北朝鮮非難声明（29日付）

### 2 本文

#### 【内政】

#### 1 閣僚4名の交代に関する発表

（1）1日、サントス大統領は、住居・都市・国土大臣、運輸大臣、商工観光大臣及び農業・地方開発大臣の4閣僚を交替する内閣改造につき発表した。

（2）プマレホ（Jaime PUMAREJO）新住居・都市・国土大臣及びカルドナ（German GARDONA）新運輸大臣は8月10日、マリア・ロレナ・グティエレス（Maria Lorena GUTIERREZ）新商工観光大臣は8月22日にそれぞれ就任した。なお、イラゴリ現農業・地方開発大臣は交替予定であるが、口蹄疫の問題が収束するまで留任し、新任の大臣は未定。

#### 2 ベルナルド・エリアス（通称「ニョニョ」）上院議員の逮捕

10日、与党国民統一党所属のベルナルド・エリアス（通称「ニョニョ」）上院議員が、ブラジルの建設会社オデブレイト社から国会議員に対する贈賄の便宜を図った容疑で逮捕された。司法取引を目的として、今次汚職に関連する他の議員の名について明らかにする方向。

### 3 FARCの武器回収の搬出完了と「訓練・再統合領域空間」への転換

15日、FARC集住地域に保管されていたFARCから回収された武器の最後の容器の搬出完了式典が行われ、FARC集住地域が終了した。式典にはサントス大統領、イバン・マルケス元FARC側和平交渉団長、アルノー事務総長特別代表（SRSG）が出席した。アルノーSRSGは、国連ミッションは、FARCの武装解除及び武器がクンディナマルカ県のフンサに向けて搬出されたことを証明する、合計8,112丁の武器及び130万個の弾薬が引き渡された旨報告した。また、サントス大統領は、26か所のFARC集住地域を、コミュニティに対して開かれた「訓練・再統合領域空間」(Espacios Territoriales para la Capacitacion y la Reincorporacion)に転換することを承認した。

### 4 FARCによる財産リストの政府への提出

(1) 16日、国連検証ミッションは7月31日にFARC側から提出された財産リストをコロンビア政府に提出し、同リストは直ちに検察庁、和平特別司法制度（JEP）事務局及び財産管理基金（Patrimonio Autonomo）事務局に送付された。

(2) 23日、マルティネス検事総長は、135ページからなるリストのうち大半はFARCの所有物でなく国有財産であり、補償に充てられるような資産価値がないものであり、海外にあるとされる資産については計上されていないと指摘した。そのため、24日、検察庁は内務省及び国防省を中心とするFARC財産受領・検証・授与委員会を設立した。

### 5 検察によるFARC離反兵の報告書の発表

19日、検察庁はFARC離反兵に関する報告書を発表し、全国32県のうち14県でFARC離反兵が確認されている上、活動しているとされる48市のうち25市で殺人件数が増加しており、特にエクアドル国境のナリーニョ県の太平洋岸沿いにあるトゥマコ市では、状況は深刻と指摘した。

### 6 FARCの政党発足に向けた全国集会の開催

8月27日～31日、ボゴタ市内において、FARCによる新党設立のための全国集会が開催された。政党名については、「イバン・マルケス」が提案し、これまでのFARCの頭文字を残す政党名である「人民革命代替勢力党（Fuerza Alternativa Revolucionaria del Comun）」（以下FARC党）が採用され、「ティモチエンコ」が提案した「ヌエバ・コロンビア党（Nueva Colombia）」は不採用となった。併せてFARC党のロゴ、党の決定を行う母体となる党執行部のメンバーを選出する選挙も実施された。同執行部はこれまでは61名であったが、今回は111名に増員された。

## 7 サントス大統領支持率（括弧内は前回数値）

ア C & C (Cifras & Conceptos) 社：7月25～30日実施，主要11都市（対象1,800名），誤差±5%，信頼度95%

支持：24%（24%） 不支持：73%（74%）

イ ギャラップ社：8月19～29日実施，主要5都市（対象1,200名），誤差±3%，信頼度95%

支持：25%（24%） 不支持：72%（71%）

## 【外交】

### 1 サントス大統領のベネズエラ情勢に関する発言

7日，サントス大統領は，ベネズエラにおける制憲議会設置につき，ベネズエラとの外交関係の断絶も辞さない，域内の他国の大統領とともに決定すべき事項，現時点では，外交関係断絶は，利益よりも問題の方が大きい旨発言した。

### 2 オルギン外相のベネズエラ情勢に関する外相会合出席

8日，オルギン外相は，ペルー政府の呼びかけによりリマで開催された，ベネズエラ情勢に関する米州地域の緊急外相会合に出席した。17か国の出席者とともに「リマ宣言」が採択した。

### 3 オルギン外相のアルゼンチン訪問

9～10日，オルギン外相はアルゼンチンを訪問した。9日，フォーリー亜外相とともに第4回亜・コロンビア政策協議を開催，亜は国連やOAS，ポスト・コンフリクト協力を通じて，コロンビアの和平プロセスに引き続き協力していく姿勢を示した。また10日には，ブルリッチ治安相と会合を行い，治安，薬物との闘い，恐喝その他の国境を越えた組織犯罪対策での協力について意見交換した。

### 4 ペンス米副大統領の当国訪問

13～14日，ペンス米副大統領が当地（カルタヘナ市）を訪問し，サントス大統領との会談を行った。会談では，コカ葉栽培面積の増加，コロンビアのOECD加盟に対する米国の支持，ベネズエラ情勢等について意見交換した。

### 5 オルテガ・ベネズエラ「前」検事総長のコロンビア入国

(1) 18日，オルテガ・ベネズエラ「前」検事総長が，夫であり国会議員であるフェレル国会議員（与党PSUV），サンチェス検察庁事務局長，ビラール検事（汚職担当）とともに入国した。

(2) 21日，サントス大統領と会談を行い，サントス大統領はツイッターを通じて，現

在オルテガ「前」検事総長はコロンビア政府の保護下にあり、本人が政治亡命を希望すれば、承認する用意がある旨発言した。

(3) 22日、コロンビア移民局は、オルテガ「前」検事総長がブラジルに向け出国したことを確認した。

#### 6 ロンドーニョ筆頭外務次官のFEALAC外相会合出席（於：釜山）

29～31日、ロンドーニョ筆頭外務次官がFEALAC外相会合に出席したほか、また、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、タイ及びマレーシアのカウンターパートと会談した。また、コロンビアはFEALAC科学技術・イノベーションWGの共同議長を務めた。

#### 7 コロンビア外務省による北朝鮮非難声明

30日、コロンビア外務省は、北朝鮮の弾道ミサイル発射に関し、国連憲章及び国連安保理決議違反であるとして非難するとともに、日本国及び同国民に対する連帯を示す29日付の声明を発出した。